



放射能から 子どもを守ろう

北部のママさんナース頑張る〜

まいつる協立診療所 柳田こず江

福島原発過酷事故から、何かしなくてはという思いで、昨年12月に「Rainbow Mother」放射能から子どもを守りたいin綾部の会を立ち上げました。原発をなくしたいという思いを基盤に、日々子どもたちの口に入る食品の安全を求める活動から始めました。今年3月には学校・幼児園・保育園の給食の安全を求める要望書を提出しました。今後は、署名を集める予定です。

ここ綾部は若狭原発から30キロ圏内、老朽化した原発

がいつ事故を起こすとも限りません。原発事故に脅えながら、子どもたちが口にする食品の心配をする生活はしたくありません。原発を再稼働させてはいけない、また放射能の怖さ、今後も続く食品汚染とどう向き合うか、子育て世代を中心に様々な運動が巻き起こってほしい、その原動力になるような活動をしていけたらと思っています。

目標に向け フェア全国行脚

看護部 高見電子

来春入職者を少しでも多く迎え入れるため(目標40名に対し奨学生は21名)、企業や看護協会が主催する就職フェアに参加しています。京都はもちろん、福岡や広島、兵庫に8回出向き、延べ2225名の学生が京都保健会のブースに訪れ話を聞いてくれました。学生には引き続き、病院見学や看護体験のお誘いをしていきます。職員の皆さん、是非、ウェルカムメッセージ&看護



師紹介ウェブをお願いします。

今春入職者を対象に6月夕食会を開きました。ロコモコやケーキを食べながら近況報告、失敗したことを発表しました。疲れた様子もありましたが、諸先輩に支えられながら少しずつガンバって成長しています。



友の会 活動家紹介

上京健康友の会
内田 勝治さん



上京診療所開設と同時に現れた若き縁の下の力持ち、内田さんを紹介します。ご家族は上京病院や中央病院に通院されて繋がりはありましたが、昨年秋の友の会一泊旅行に参加されたから、急速に友の会と関係が近くなりました。旅行で仲良くなった副会長とは何でも言い合える仲だそうで、副会長の「ヘルプ」で時間があればサツと駆けつけ友の会会報のお手伝いをされています。会報だけでなく見守りボランティア、友の会喫茶で活躍されています。

この先は、「友の会の中心で頑張つてよ」と言つと「色々



(上京診療所 芳村雅尚)